

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス アミスター		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 1日		令和 8年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 1日		令和 8年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	複合型福祉施設の特徴を生かし、学童やさまざまな人と関わる活動ができます。	併設している学童や他事業所と交流できる環境が整っています。日々のプログラムに交流する活動を取り入れたり、地域のイベントと一緒に参加したり等、お互いを認め協力し合う関係を築ける支援をしています。	活動を継続しながら、さらに充実した関わりがもてるような活動計画を検討・実施していきます。
2	屋外活動など施設外での活動を多く取り入れていたり、スポーツレクリエーション指導資格を保有している職員によって、さまざまな集団活動を取り入れています。	公園がすぐそばにある環境や、畑、法人が所有する野外活動施設等、屋外で自然に触れながら五感を刺激する体験ができる活動を日々の支援に取り入れています。また、地域のお店をお買い物体験等で利用して、地域との交流も大切にしています。室内・屋外ともに、身体を動かすレクリエーションだけでなく、子ども同士が話す、聞く、協力する力を養える活動もおこなっています。	屋外活動の楽しさや屋外活動で得られる経験の大切さを子どもだけでなく保護者へも伝えていながら、さらに充実した活動プログラムを計画しています。
3	発達支援のプログラムに、自分の得意不得意を理解して自分と相手を認め合える活動を多く取り入れています。	ワークや小集団活動で、自分の得意なことだけでなく苦手なことも発表して、お互いの良さを認め合える機会を作り自己肯定感の安定に繋がっています。	多様な子どもの特性を理解しながら、思い合ったり助け合えるような仲間意識が育つ発達支援内容と環境を検討しています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期的に保護者会(VIDAサロン)を開催しましたが、参加人数が集まりませんでした。	土曜日の開催でしたが家族での時間を優先し、保護者の参加が難しかったです。	保護者にアンケートを取り、参加しやすい時期や曜日等を検討していきます。また、親子遠足のようなイベントを設けて事業所外での開催も検討していきたいと思います。
2			
3			